

## ＜第 11 回テーマ別懇談会 (Zoom 開催)＞

- (1) 日 時 2021 年 5 月 18 日 (火) 13:30～15:30
- (2) 開催方法 Web 会議システム「Zoom」を使用したオンライン開催
- (3) 主 催 新潟大学地域創生推進機構  
協 力 新潟県 (ICT 推進課) INSIGHT LAB 株式会社
- (4) 参加者 県、市町村等関係者 約 70 人
- (5) ミニ講義

○基本テーマ「産官学連携によるオープンデータの基盤整備と活用の視点」

### ＜テーマ設定の趣旨＞

官民データ活用推進基本法(平成 28 年法律第 103 号)において、国及び地方公共団体はオープンデータに取り組むことが義務付けられました。オープンデータへの取組により、国民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等が期待されています。

しかしながら、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室が発表した令和 3 年 3 月 12 日時点の本県の市町村オープンデータ取組率は 56.7% (17/30 市町村) で全国の取組率 60% (1,065/1,788 自治体) より低く、オープンデータ化の取組は十分に進んでいるとは言えない状況にあります。

こうした中、オープンデータをどう使えばよいか分からないという声が聞かれますが、まずは継続的に公開していくことが重要ではないでしょうか。義務教育にプログラミングが導入され、高等学校でも 2022 年から「情報 I」が必修化されます。これから社会に出る若者はデータを当たり前で扱えることが普通になります。今からそのような人たちが活躍できる街づくりをすることが必要です。

今回の懇談会では、オープンデータに取り組む意義や基盤整備のあり方、活用の視点などについて、事例を交えながらご説明させていただき、自治体におけるオープンデータ化の促進を図るとともに、本学も協力する中で地域課題の解決に資する取組につなげていただくものです。

講師(敬称略)	及び	ミニ講義テーマ・要旨
<b>新潟大学ビッグデータアクティベーション研究センター長(工学部教授) 山崎 達也</b>		
○ミニ講義 1 (30 分)		
テーマ「今からでも間に合うデータ先進県作り」		
＜要旨＞		
現代は、ビジネスだけでなく、住民サービスにもデータを利活用することは必要な社会になってきていると思います。誰でも使えるデータとしてのオープンデータへの取り組みが国主導で行われてきましたが、本県はまだ後進県と言わざるを得ません。しかしながら上位県との差は小さく、これから浮上することは十分可能です。そのための戦略作りをこの機会に一緒に考えて頂きたいと思います。		
<b>INSIGHT LAB 株式会社 代表取締役 CEO 遠山 功</b>		
○ミニ講義 2 (30 分)		
テーマ「越後データプラットフォームを活用したデータ活用事例」		
＜要旨＞		
デジタル化の時代の到来により、データを活用した市民の安全安心、サービス向上への取り組みを進めるべく「越後データプラットフォーム」の構想とその活用事例を紹介します。全国シビックテック大会で金賞を受賞した「ガタリコ」を事例に産官学で連携し、ビッグデータで新潟のより豊かな社会を作る活動を進めていきたいと思ひます。		

(6) 新潟県におけるオープンデータの取組

○講師 新潟県知事政策局 ICT 推進課 主事 矢島 尚貴 氏

(7) 参加者との意見交換

